

豊田合成健康保険組合 健康経営への取り組みについて

豊田合成健康保険組合では、加入者の皆様の健康を守る保険者として、まずは職員自身が心身ともに健康に業務に励むことが重要だと考え、健康経営を推進しています。

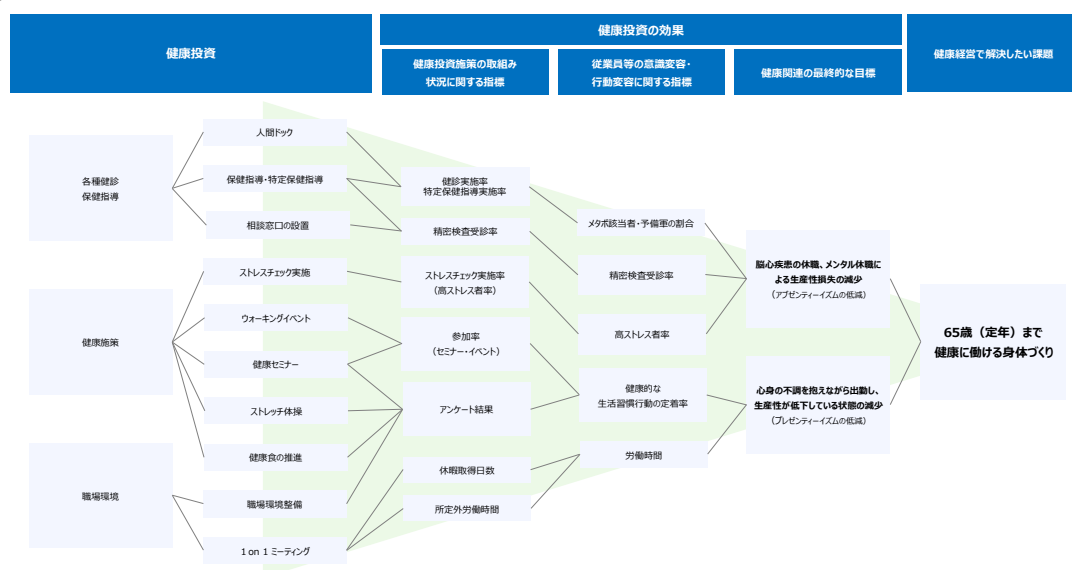
1. 健康経営優良法人の認定状況

当健保は、2023 年より健康経営優良法人の認定を継続して受けています。



2. 当健保の健康経営戦略マップ

当健保では、加入者のみなさまの健康保持・増進を支える組織として、病気による離職率 0%を保ち、全職員が 65 歳の定年まで健康に働き続けられる身体づくりを実現することです。



3. 当健保の取り組み内容（一部）

①人間ドック受診促進

職員の疾病予防・早期発見のため、定期健康診断は人間ドックの受診を推奨しています。

実績：人間ドックの受診率 100%を維持

②ヘルスリテラシー向上と行動変容

- ・健康ウォーク開催：春にウォーキングイベントを実施し、運動機会を提供
- ・情報発信：秋に健康に関する記事の配信やミニ健康講話を実施

③メンタルヘルスと働きやすい職場の環境整備

- ・コミュニケーションの活性化：1on1 ミーティングなどを通じて、業務だけでなく、体調やメンタル面の不安も気軽に相談できる風土づくり
- ・デスクワーク対策：長時間座り過ぎによる健康被害や運動不足を防ぐため、昇降デスクの導入など活動量を高める環境づくりを推進

④産業保健専門職（保健師）の登用

- ・専門的な知見を持つ保健師を配置し、データ分析から受診勧奨までを一貫して行う体制づくり

加入者のみなさまの模範となるよう、従業員一丸となって健康を目指していきます。